

Akashi College		Year	2022		Course Title	Practice of Regional Planning I	
Course Information							
Course Code		4023		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Seminar		Credits		School Credit: 2	
Department		Architecture and Civil Engineering		Student Grade		Adv. 1st	
Term		Second Semester		Classes per Week		4	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書は使用しない。適宜プリント資料を配付する。					
Instructor		OTSUKA Takehiko					
Course Objectives							
1) コンペの出題意図を理解し、背景や目的などを的確に把握することができる 2) 複数のアイディアを出して検討し、最後一つのアイディアにまとめることができる 3) 期日までに求められたものを完成させ、成果物を人に分かりやすく伝えることができる。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		課題・コンペ出題意図を的確に理解できる		課題・コンペ出題意図をおおよそ理解できる		課題・コンペ出題意図を理解できない	
評価項目2		複数のアイディアを出して検討し、最後一つのアイディアにまとめることができる		一つのアイディアを出してまとめることができる		アイディアを出すことができない 複数のアイディアを出して検討し、最後一つのアイディアにまとめることができない	
評価項目3		成果物の内容を的確に人に伝えることができる。		成果物の内容をを人に伝えることができる。		成果物の内容をを人に伝えることができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		本科目はこれまで専門科目で学んだことを活かして、教員が提示する課題（2課題）もしくは、全国デザインコンペティション（デザコン）の課題に取り組むことを目的とする。					
Style		受講者全員で課題内容を読み込み、その後は個人あるいはグループで提案を作成する。毎週の授業時間内に担当教員から指導を受ける。					
Notice		本科目は課題(課題)もしくは、デザコンの課題に取り組み、最後提出することを単位取得の要件とする。合格の対象としない欠席条件(割合) 1/5以上の欠課。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☒ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	オリエンテーション課題説明（課題①②もしくはデザコン）・グループわけ		この科目の内容を理解することができる		
		2nd	課題分析		課題の分析を行い、出題者の意図を適切に理解することができる		
		3rd	課題に関する資料収集		関係ある資料を収集することができる		
		4th	課題に関する資料収集		関係ある資料を収集することができる		
		5th	方針決定		課題に対する取り組み方針を決定することができる		
		6th	コンセプト・アイディア作成		コンセプトやアイディアを作ることができる		
		7th	コンセプト・アイディア作成		コンセプトやアイディアを作ることができる		
		8th	中間発表会：(課題①の発表) アイディアを発表する		自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問等に適切に答えることができる		
	4th Quarter	9th	(構造)設計・製作 (空間・環境)図面作成		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		10th	(構造)設計・製作 (空間・環境)図面作成		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		11th	(構造)設計・製作 (空間・環境)図面作成		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		12th	(構造)設計・製作 (空間・環境)図面作成		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		13th	(構造)設計・製作 (空間・環境)図面作成		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		14th	講評会（課題②発表）		自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問等に適切に答えることができる		
		15th	ブラッシュアップ		最終提出の仕様に合わせたものを作成することができる		
		16th	期末試験実施せず				
Evaluation Method and Weight (%)							
	最終成果物		発表		レポート		Total
Subtotal		80		10		100	
基礎的能力		10		0		15	
専門的能力		40		0		45	

分野横断的能力	30	10	0	40
---------	----	----	---	----